

かけはし 73

No.



CONTENTS

・新着医師紹介	(2)	・薬剤科 実務実習を終えて	(6)
・わくわく託児所	(2)	・食事療法 サポートします!	(6)
・薬剤科 紹介	(3)	・新入職員紹介	(7)
・内視鏡・手術室・中央材料室 紹介	(3)	・永年勤続表彰者紹介	(7)
・自宅でできるエクササイズ	(4)	・地域医療連携室だより	(7)
・あなたの足は大丈夫ですか?	(4)	・診療日程表	(8)
・病気のはなし:腎不全	(5)	・編集後記	(8)



Topics

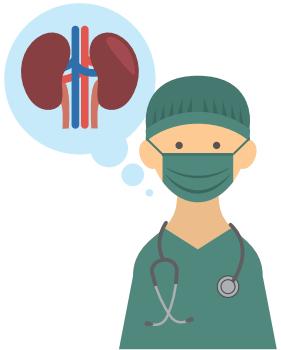
新着医師紹介

透析科 非常勤医師 正木 紀行

7月より非常勤で透析室に勤務させて頂いています正木と申します。
昨年度まで都内の大学病院に所属し、主に腎移植とバスキュラーアクセスの手術を専門としていました。この度、約20年ぶりに生まれ故郷の倉敷に帰り、セントラル病院へ勤務させて頂いています。スタッフの方や患者さんから岡山・広島弁を聞く度に、帰ってきたんだという実感が沸き、うれしく思います。

あいにくのコロナ禍で、久しぶりの故郷での食べ歩きや飲み歩きができなくて寂しい限りですが、いつか落ち着くと信じて、その頃には生まれ故郷を楽しみたいと思っています。

月曜日、火曜日、金曜日だけの勤務となります、何卒宜しくお願い致します。



わくわく託児所



保育士 後藤 公子

2020年4月、病院付属託児所がセントラル病院の側に新築移転し、通称「わくわく託児所」として新しくスタートいたしました。

新しい託児所は、日当たりや風通しも良く、快適に過ごすことができています。また、大きな窓から見える園庭があり、いつでも外遊びができる環境に子どもたちも大喜びしています。

わくわく託児所では、0歳から3歳までの保育、夜間保育や臨時保育にも対応しており、小規模保育施設の特性を活かし、一人ひとりの発達に合った保育を行っています。家庭的な雰囲気の中、季節ごとの行事を大切にしながら、いろいろな体験を通して心と体を育んでいます。異年齢の混合保育の中では、小さい子を思いやり優しい心の成長も見られ、子どもたちの笑顔やがんばる姿に保育士も毎日元気をもらっています。

これからも保護者の皆さまがお子さまを安心して預けられ、お仕事に専念できるよう、これまで以上の気配りと充実した保育で、「笑顔」と「わくわく」があふれる託児所となるよう努めてまいります。



部署紹介

〈薬剤科〉

薬剤師
丸山 莉恵

薬剤科は薬の専門家として、患者様の薬物療法の確認・病棟の薬品管理・服薬指導・抗がん剤調製・適切な医薬品情報の収集や提供などを行っています。患者様からお話を聞き、症状に基づき、医師や看護師へ薬物療法の提案なども行っています。

入院中の患者様に薬の服用方法・薬効などを説明し、正しい服薬が行えるよう指導を行っています。また、患者様の病状・薬歴・副作用などを観察・チェックすることにより、効果的で安全な薬物療法が行われることを支援しています。入院時に持参された薬の鑑別など医薬品の適正使用の様々な情報提供も行っています。他部署とのカンファレンスなどにも参加してチーム医療を行えるよう心がけています。

薬のことで困ったことや疑問に思ったことなどあれば、お気軽にご相談ください。



部署紹介

〈内視鏡・手術室・中央材料室〉

看護師
藤本 智恵

3部門が統合された部署で4階にあります。

新病院の内視鏡室は検査室が2つに増えたことで、患者様の待ち時間の短縮につながり、緊急内視鏡検査が迅速に行える様になりました。鎮静剤を使用された方がリクライニングチェアで休める安静室を併設しました。最近は嘔吐反射が少しでも和らぐようマウスピースを変更し、より安楽に検査を受けて頂けるように工夫しています。標準予防策を行い、手指消毒の徹底など、患者様・医療者ともに安心して検査が行える対応をしています。

手術は月曜日から金曜日の午後に行っています。手術前後に患者様に訪問を行い、安心して手術を受けて頂ける看護を心掛けています。

中央材料室は、医療材料の管理や院内物品の洗浄・滅菌作業を行っています。院内をラウンドし、払い出された物品が適正に使用されているか評価を行い、各部署へフィードバックを行っています。

今後もチーム一丸となって安心・安全な検査、手術が行える様日々努力して参りますのでよろしくお願い致します。



自宅でできるエクササイズ

理学療法士 佐々木 智也

新型コロナウイルスの影響により在宅時間が増え、体を動かす機会が減った方も多いのではないでしょうか。今回は室内で手軽にできる運動を2種類紹介しますので、ご自宅で試してみてください。

・立ち上がり運動(1日 10回×1~3)



① 棒(無ければタオル)を両手で持ちます。
② 棒を持ちながら立ち上がります。
③ 立ち上がったらバンザイをします。

※立つのが難しい方はお尻の下にタオルなどを置いて座高を高くすると立ちやすくなります。

・着座運動(1日 5回×1~3)

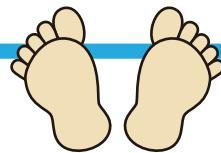


① 安定したもの(椅子・テーブルなど)につかまって立ちます。
② 目線は前を向いたまま体を倒していくきます。
③ 3~5秒かけてゆっくり座っていきます。



運動を行う際の注意点

- ・転倒に十分に気をつけ、無理せずできる範囲で行いましょう。
- ・回数はあくまで目安です。ご自分の体力に合わせて行いましょう。
- ・筋肉痛がある場合には、その日は休みにしましょう。



看護師 藪田 理恵

あなたの足は大丈夫ですか?

当院では足の病気の変化を予測し、重大な合併症や問題がおこらないようにするために、フットケアを行っています。フットケアの内容は、足の観察、爪切り、検査の相談、お手入れや靴の選び方の説明、傷の処置などさまざまです。糖尿病や透析治療を受けておられる患者様の足は、神経障害や動脈硬化による血流障害などが原因で冷え、しびれ、痛み、潰瘍の形成などが起こりやすくなっています。靴擦れや爪の切りすぎによる傷、乾燥などを放置しておくと、潰瘍(かいよう)、壊疽(えそ)など重大な病変に進行し、下肢切断につながることもあります。大切な足を守るためにには、傷を作らないように注意をはらい、毎日足を観察してお手入れすることが大切です。足が痛い、足の色がおかしい、傷がある、むくみで靴があわない、爪が切れないなど気になることがありましたら、お気軽に看護師までご相談ください。





病気のはなし

腎不全

透析科 医師 正木 紀行

腎臓の機能が3分の1以下まで低下してしまった腎不全の患者は、日本に約1300万人、10人に1人いるといわれています。高齢化に伴いこの数は増加傾向です。

腎不全が悪化し、命にかかる状態(末期腎不全)に至ると、腎代替療法が必要となります。腎代替療法は、失われた腎臓の機能の代わりをする治療法のこと、血液透析、腹膜透析、腎移植の3つがあります。

血液透析は腕にブラッドアクセス(動脈・静脈をつなぐ手術)を作製しておき、その血管に針を刺して血液を体外に取りだし透析器を介して血液を浄化して体に戻す治療です。標準的には週3回通院し1回約4時間かけて行います。また、腹膜透析とは、お腹の中にカテーテルを留置する手術を行い、透析液を一定時間入れて、血液中の余分な水分や老廃物が腹膜を介して透析液に移行させ、透析液をお腹の外に排出し、血液を浄化する治療です。1日に3~5回透析液を交換します。

腎移植は、健康な方の腎臓を1つ頂き移植する(生体腎移植)、もしくは脳死心停止になった方から腎臓を頂き移植する(献腎移植)治療です。拒絶反応、感染症のリスクはありますが、透析療法に比べ、生命予後がよく、QOL(生活の質)が大幅に改善されます。

日本は、他の先進諸国と比べ腎移植、特に献腎移植の件数が乏しい国です。臓器提供者(ドナー)が極端に少ないということがその原因です。なぜ少ないのでしょうか?一つに国民の意識が低いことがあります。

健康保険証や運転免許証、マイナンバーカードに臓器提供意思表示欄があるのはご存知でしょうか?

日本では意思表示をしている方は12.7%しかいなかったとの調査結果があります。自分が事故などで脳死状態になったとき、家族が脳死になったとき、どうしてほしいか、どうしたいか。家族や仲の良い方と話をし、意思を表示してみてはいかがでしょうか。

腎臓は、沈黙の臓器とよばれています。痛みなどの自覚症状がなく、気が付いたら血液透析になっていたという患者さんをみることがあります。定期健診をうけ、腎不全を早期に発見することだけでなく、肥満にならないよう適度な運動をする、血圧を上げないようバランスの良い食事に気を付ける、禁煙する、水分をこまめに取るなど腎臓に負担をかけない生活を送ることが大切です。



Topics

薬剤科

実務実習を終えて

福山大学薬学部 原田 涼平

約2ヶ月半にわたり、病院実務実習で大変お世話になりました。

調剤業務、輸液の準備、持参薬の鑑別、服薬指導、カンファレンスの見学など薬剤師が行う様々な業務を体験させて頂きました。また気管切開、CVカテーテル留置、胆のう切除手術の見学、透析室回診の見学といった貴重な経験もできました。いずれにおいても、知識・経験ともに少ない僕たち実習生に医師や看護師、薬局の皆様はとても丁寧に教えて下さいました。様々な職種の方と連携して患者さんの治療を行っていくことで多くの知識を得て、薬剤師としてレベルアップできることが病院薬剤師の魅力であると、病院実習を通して感じました。

実習で学んだことを活かして、頼りになる立派な薬剤師になりたいと思います。最後になりましたが、コロナ禍で大変な中、実務実習を受け入れて頂けたこと、またお忙しい中様々なことを教えて頂いた薬局の皆様、職員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

福山大学薬学部 松本 真奈

約11週間の病院実習、短い間でしたが大変お世話になりました。初めての病院実習で分からぬこともたくさんありました。丁寧なご指導ありがとうございました。

薬局内の基本的な調剤業務の他、オペ見学や透析室での回診、感染予防についての勉強会など、様々な事を体験させていただきました。想像していた病院薬剤師の業務よりもはるかに多い業務と、薬剤師が他職種とどのように関わっているのかも学ぶことができました。医師からの課題や、薬剤師に教えてもらった事、薬について勉強していくなかで、まだまだ知識が足りない事を実感しました。私も薬のスペシャリストとしてもっと勉強して、知識を付けていきたいと思いました。

最後になりますが、今回コロナの影響で大変な時期に実習をさせていただき、大変忙しい中指導して下さった薬局の皆様、職員の皆様、実習に協力してくださった患者様、本当にありがとうございました。

食事療法 サポートします!

管理栄養士 上本 知佳・佐々木 真希

当院では生活習慣病での食事療法の指導の他、手術前・手術後の栄養のサポートも行っています。手術前の栄養状態は傷の治りや感染などの合併症の発生に大きく影響します。そのため手術前の栄養は大変重要です！しかし、「手術までに栄養をつけましょう」と言われても、何を食べたら良いか分からない。そんな時は、管理栄養士にご相談ください。一人一人の状態に合った食べ方や食品の提案をします。

また、加齢とともに食欲がなくなり痩せた方、筋肉量が減ってしまい動くことがしんどい方など、フレイル（虚弱）・サルコペニア（筋肉減少症）の予防・改善のサポートもしています。早めの対策が重要です。お食事で気になることがあれば、お気軽にお声がけください。お待ちしております。

必要な方には栄養補助食品のサンプルもお渡ししています！



新入職員紹介

頑張ってください!!

臨床検査技師

高山 あすみ

7月より検査科の一員として勤務させて頂いています。

映画鑑賞が趣味で、今は映画館で観るジブリ作品が気になっています。

一日も早く仕事を覚えられるよう頑張ります。
よろしくお願ひします。



地域医療連携室だより

2020年 セントラル病院 永年勤続表彰者

20年表彰

山縣 薫 看護師

5年表彰

藤本 智恵 看護師

10年表彰

岡本 康 医師

鎌倉 菜摘 看護師

小寺 美子 看護師

加藤 千景 看護師

川崎 忍 看護師

宮本 真由 薬剤師

藤井 良子 事務

金尾 亮兵 理学療法士

小塚 典子 事務

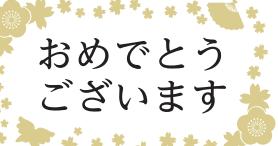
古川 広恵 臨床検査技師

大居 末子 看護助手

井上 紀子 看護助手

三宅 美緒 看護助手

藤田 愛佳 事務



地域医療連携室だより

地域医療連携室

看護師

柳本 陽子・中村 明子

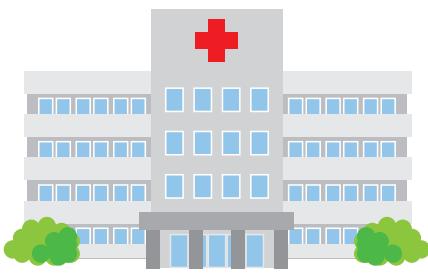
社会福祉士

小林 道子

田中 育美・山本 洋江

夏と秋の境目の季節に当たる9月になりました。9月はその年の12月と同じ曜日で始まります。陰暦で9月は長月(ながつき)と呼ばれ、夜が長くなる月「夜長月(よながつき)」と呼ばれていたものの、夜が抜け落ち長月と呼ばれるようになったということです。お彼岸までは、日中は8月のように暑い日が続きますが、夜7時を過ぎると暗くなっています。秋の夕べは釣瓶落としというように、暗くなるのが早くなっていることを感じます。

さて、地域医療連携室では、6月より診察申し込み票・各種検査申込票を一部変更させて頂きました。診察や検査の申し込みは、今までと同じくFAXにてお申込みいただけます。当院へ診察や検査のご希望がある場合は、ご紹介して頂ける医療機関様よりご予約を頂けると待ち時間が短縮されます。ご紹介・ご予約、また詳しい内容や不明な点などございましたら地域医療連携室に、ご連絡ください。



Topics

〈セントラル病院診療日程表〉

2020年7月

	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	竹政	竹政	後藤	竹政	竹政
	午後	15時～一般外来 17時～スポーツ外来	手術 15時～川大整形	15時～一般外来 17時～スポーツ外来	手術 15時～川大整形 17時～スポーツ外来	—
外 科	午前	高橋	竹原	山口	高橋	山口
	—	乳腺甲状腺 折田	—	乳腺甲状腺 折田	—	—
内 科	午後	乳腺甲状腺 折田	—	乳腺甲状腺 折田	—	乳腺甲状腺 岩本
	午前	平川	担当医	川合	岡本	平川
	—	渡辺	渡辺	渡辺	川合	渡辺
	午後	平川	渡辺	岡本	川合	岡本
検 査	GIF	川合／竹原	岡本／山口	岡本／高橋	井上／竹原	川合／高橋
	CF	岡本	竹原	川合	岡本	川合

整形外科

竹政 敏彦
(スポーツ外来は月水木17:00～)
後藤 峰範
田辺 滋樹

(川崎医科大学整形外科)
古市 州郎
河本 豊広

外 科

高橋 健治
(消化器外科・下肢静脈瘤)
山口 友範 (消化器外科)
竹原 寛樹 (消化器外科)

折田 洋二郎 (乳腺甲状腺外科)
岩本 高行 (乳腺内分泌外科)

内 科

平川 千代子 (内科・麻酔科)
渡辺 康典 (呼吸器内科)
岡本 康 (消化器内科)
川合 幸延 (消化器内科)
浜井 千香 (内科)
太田 浩子 (内科)
井上 和彦 (消化器内科)
石井 芳樹 (消化器内科)
濱田 礼子 (内科)
立本 修二 (内科)

健康管理科より

当院では『地域の方々を健康に。』を目標に、各種人間ドック・健診をおこなっています。

お気軽にお問合せ下さい。

医師 浜井 千香 / 太田 浩子

注意事項

※火曜日・木曜日の午後の整形外科診療は手術終了後に担当医が行っております。
※緊急時、ご紹介の場合は電話でお問い合わせください。

受付時間 午前: 8:30～12:00 診察時間 午前: 9:00～12:30
午後: 13:30～17:30 午後: 14:00～18:00
※土曜日は12:00までの受付です。

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
代表TEL:084-924-4141 地域医療連携室TEL:084-920-1472
代表FAX:084-924-8040 FAX:084-920-9278

編集後記



さわやかな秋晴れ季節となりました。夏の暑さですっかり運動不足となり、コロナ禍での外出自粛、食欲の秋が訪れる事を思うと、ウォーキングでも始めてみようかと考えるこの頃です。

今年新しくなった福山市体育館、みなさんはもう行ってみたか?公園をはじめ芝生広場や遊歩道もきれいになり、軽い運動にはお勧めの場所です。残暑もありますので、体調管理には十分注意して過ごしましょう。

広報委員 地域医療連携室 田中 育美

セントラル病院の基本姿勢

C:Center	地域医療の中核
E:Emergency	的確な救急医療
N:Network	院内外の連携体制
T:Technique	高度な医療技術
R:Research	旺盛な研究心
A:Activity	あふれる活気
L:Love	深い愛情
H:Hospitality	快適な医療環境
P:Partnership	良好なパートナーシップ

発 行 特定医療法人 財団竹政会
セントラル病院
発行責任者 院長 高橋 健治